

景百延幌

撮影者/山下 智昭



秋の原野



朝露



役場ドームにかかる秋の月

窓裏のほろ

■今回は名前について、ちよつと考えてみました。

■名前は、誰もが生まれて一番初めに両親（または祖父母など）から贈られるプレゼントです。そして、その贈り物とは一生付き合っていくわけですから、名前をつける方も「所懸命知恵を絞って、そして願いを込めて贈ってください。」

■わが家のエンジニアの取材に行くといろいろな名前の赤ちゃんとお会いすることが出来ます。最近の赤ちゃんの名前はとても凝ったものが多く、そして響きの優しいものが多いように感じます。お父さん、お母さんが画数辞典などを片手に悩んでいる姿が目に見えます。

■宮崎アニメの「千と千尋の神隠し」では、名前を奪われた千尋が千となつていろいろな苦労を乗り越えて行きます。昔から名前はものの本質をとらえており、魂が宿るといわれています。それだけ大切なものなんです。

■その大切な名前ですが、先月号のわが家のエンジニアに登場していただいた富永遼太朗さんと高城琥太郎さんの「ろ」の字が混同して掲載されてしまいました。正しくは富永遼太朗さんと高城琥太郎さんです。訂正してお詫びいたします。

【総務課企画振興グループ】

● 広報誌へのご意見 ご要望をお寄せください ●

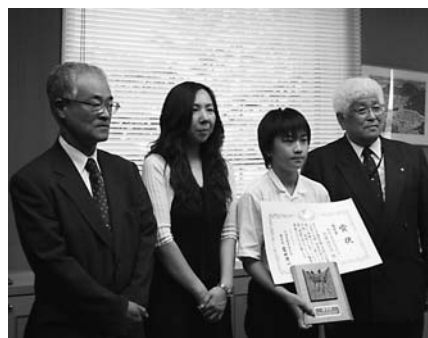
総務課企画振興グループ ☎5-1111【内線】223・224

9月10日(水) 佐藤慎之介君が「少年の主張全道大会」 優秀賞受賞を町長に報告

去る9月5日に札幌で開かれた平成20年度「少年の主張」全道大会で、問寒別中学校3年の佐藤慎之介君が見事、優秀賞（北海道教育長賞）を受賞し、町長へ報告しました。

佐藤君は「父のように」と題した発表で、「とても素晴らしい親子関係だと思う」との講評をいただき、惜しくも全国大会の切符は逃しましたが、優秀賞に輝きました。

報告を受けた町長は、「お父さん以上の酪農家になってください」と佐藤君を激励しました。



八月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

米寿来ていて健やかに胡瓜もむ	沢田	小浪
胡瓜採み記憶に残る母の味	藤岡	芙美
生胡瓜味噌で齧りし少年期	横山	貞雄
喉元に涼兆しおり初胡瓜	小林喜久美	
胡瓜漬けて二人の暮らし二十年	佐藤	光朗
糠漬けの胡瓜しなやか緑濃し	福田	敏
初挽ぎの胡瓜が二本陽の厨	田中	徹男



(平成20年8月 末日現在)
※()内は前月比

男	1,369	(-2)
女	1,325	(-7)
計	2,694	(-9)
世帯数	1,280	(-2)



この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。

平成20年10月 発行/天塩郡幌延町
企画編集/総務課企画振興グループ ☎5-1111(223)
幌延町ホームページアドレス/ http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
メールアドレス/ webmaster@town.horonobe.hokkaido.jp

印刷/株式会社須田製版